

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成22年7月30日

【四半期会計期間】 第10期第3四半期（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

【会社名】 エムスリー株式会社
（旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社）

【英訳名】 M3, Inc.
（旧英訳名 So-net M3, Inc.）

（注）平成21年6月22日開催の第9回定時株主総会の決議により、平成22年1月1日付で会社名を上記の通り変更しました。

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 谷村 格

【本店の所在の場所】 東京都港区芝大門二丁目5番5号

【電話番号】 03（5408）0800（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役 辻 高 宏

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝大門二丁目5番5号

【電話番号】 03（5408）0800（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役 辻 高 宏

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の連結子会社であるメビックス株式会社（以下「メビックス」という）が平成22年4月30日に実施した過年度決算の訂正を発端として買収価格に与えたであろう影響を精査した結果、買収時に使用したメビックスの財務情報が不適切であったために買収価格算定の前提が覆り、取得対価が過大であったと認識しました。これを受けて、当社は取得対価のうち過大であった部分を損失処理することとし、株式取得時点に遡って決算の訂正を行うこととしました。

この決算訂正により、当社が平成22年4月30日付で提出いたしました第10期第3四半期（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）四半期報告書の訂正報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、本訂正報告書を提出するものです。また、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、あわせて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出しております。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、あらた監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 資産、負債及び純資産の状況

(3) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

(セグメント情報)

事業の種類別セグメント情報

所在地別セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第9期 第3四半期連結 累計期間	第10期 第3四半期連結 累計期間	第9期 第3四半期連結 会計期間	第10期 第3四半期連結 会計期間	第9期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	6,299,681	8,300,308	2,204,840	3,269,489	8,534,933
経常利益 (千円)	3,001,327	<u>3,418,441</u>	1,030,915	<u>1,377,997</u>	4,170,963
四半期(当期)純利益 (千円)	1,667,669	<u>1,959,964</u>	604,634	<u>834,720</u>	2,363,272
純資産額 (千円)	—	—	9,408,172	<u>11,277,777</u>	10,214,827
総資産額 (千円)	—	—	10,897,751	<u>14,244,323</u>	12,542,583
1株当たり純資産額 (円)	—	—	35,310.51	<u>41,688.08</u>	38,331.94
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	6,386.89	<u>7,489.84</u>	2,314.21	<u>3,189.68</u>	9,048.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	6,302.58	<u>7,406.29</u>	2,284.91	<u>3,153.33</u>	8,932.03
自己資本比率 (%)	—	—	84.7	<u>76.6</u>	80.0
営業活動によるキャッシ ュ・フロー (千円)	869,232	1,624,735	—	—	2,055,657
投資活動によるキャッシ ュ・フロー (千円)	<u>△201,679</u>	<u>△2,451,785</u>	—	—	<u>△53,487</u>
財務活動によるキャッシ ュ・フロー (千円)	<u>△764,436</u>	<u>△836,302</u>	—	—	<u>△740,871</u>
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	—	—	6,583,250	6,385,984	8,001,977
従業員数 (名)	—	—	117	253	132

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

回次	第9期 第3四半期連結 累計期間	第10期 第3四半期連結 累計期間	第9期 第3四半期連結 会計期間	第10期 第3四半期連結 会計期間	第9期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	6,299,681	8,300,308	2,204,840	3,269,489	8,534,933
経常利益 (千円)	3,001,327	<u>3,413,697</u>	1,030,915	<u>1,375,549</u>	4,170,963
四半期(当期)純利益 (千円)	1,667,669	<u>945,311</u>	604,634	<u>832,272</u>	2,363,272
純資産額 (千円)	—	—	9,408,172	<u>10,263,125</u>	10,214,827
総資産額 (千円)	—	—	10,897,751	<u>13,229,671</u>	12,542,583
1株当たり純資産額 (円)	—	—	35,310.51	<u>37,810.87</u>	38,331.94
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	6,386.89	<u>3,612.43</u>	2,314.21	<u>3,180.33</u>	9,048.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	6,302.58	<u>3,572.13</u>	2,284.91	<u>3,144.08</u>	8,932.03
自己資本比率 (%)	—	—	84.7	<u>74.8</u>	80.0
営業活動によるキャッシ ュ・フロー (千円)	869,232	1,624,735	—	—	2,055,657
投資活動によるキャッシ ュ・フロー (千円)	△201,679	△2,451,785	—	—	△53,487
財務活動によるキャッシ ュ・フロー (千円)	△764,436	△836,302	—	—	△740,871
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	—	—	6,583,250	6,385,984	8,001,977
従業員数 (名)	—	—	117	253	132

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

第2【事業の状況】

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(省略)

(訂正前)

(当期の業績)

(単位：百万円)

	平成21年3月期 第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	平成22年3月期 第3四半期 連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
	売上高	2,204	3,269	+1,064	+48.3%
営業利益	1,053	1,301	+247	+23.5%	3,990
経常利益	1,030	1,377	+347	+33.7%	4,170
四半期(当期)純利益	604	834	+230	+38.1%	2,363

(事業の種類別セグメントの業績)

(単位：百万円)

		平成21年3月期 第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	平成22年3月期 第3四半期 連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
		医療 ポータル	医療関連会社マーケティング支援	1,480	1,868	+387
	調査	260	384	+123	+47.2%	1,052
	その他	463	541	+78	+17.0%	1,669
	セグメント間の内部売上高	—	2	+2	—	—
	セグメント売上高	2,204	2,796	+591	+26.8%	8,534
	営業利益	1,053	1,485	+431	+40.9%	3,990
エビデンスソリューション	セグメント売上高	—	475	—	—	—
	営業損失(△)	—	△82	—	—	—

(訂正後)

(当期の業績)

(単位：百万円)

	平成21年3月期 第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	平成22年3月期 第3四半期 連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
	売上高	2,204	3,269	+1,064	+48.3%
営業利益	1,053	1,299	+245	+23.3%	3,990
経常利益	1,030	1,375	+344	+33.4%	4,170
四半期(当期)純利益	604	832	+227	+37.6%	2,363

(事業の種類別セグメントの業績)

(単位：百万円)

		平成21年3月期 第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	平成22年3月期 第3四半期 連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
		医療 ポータル	医療関連会社マーケティング支援	1,480	1,868	+387
	調査	260	384	+123	+47.2%	1,052
	その他	463	541	+78	+17.0%	1,669
	セグメント間の内部売上高	—	2	+2	—	—
	セグメント売上高	2,204	2,796	+591	+26.8%	8,534
	営業利益	1,053	1,485	+431	+40.9%	3,990
エビデンスソリューション	セグメント売上高	—	475	—	—	—
	営業損失(△)	—	△84	—	—	—

(省略)

(訂正前)

販売費及び一般管理費については、メビックスの新規連結による影響及びそののれん償却費(218百万円増加)の他、医療ポータルセグメントにおける業容拡大に伴う会員向けポイント関連費用の増加等の要因により、982百万円(前年同期比46.5%増)となりました。

これらの結果、営業利益は1,301百万円(前年同期比23.5%増)、経常利益は1,377百万円(同33.7%増)、四半期純利益は834百万円(同38.1%増)となりました。

また、医療ポータルセグメントは営業利益1,485百万円、エビデンスソリューションセグメントは営業損失82百万円を計上しました。

(訂正後)

販売費及び一般管理費については、メビックスの新規連結による影響及びそののれん償却費(220百万円増加)の他、医療ポータルセグメントにおける業容拡大に伴う会員向けポイント関連費用の増加等の要因により、984百万円(前年同期比46.9%増)となりました。

これらの結果、営業利益は1,299百万円(前年同期比23.3%増)、経常利益は1,375百万円(同33.4%増)、四半期純利益は832百万円(同37.6%増)となりました。

また、医療ポータルセグメントは営業利益1,485百万円、エビデンスソリューションセグメントは営業損失84百万円を計上しました。

(所在地別セグメントの業績)

① 日本

(訂正前)

国内は、医療関連会社マーケティング支援分野、調査分野、その他分野とも好調に推移したほか、メビックスの新規連結の影響により、売上高2,943百万円(前年同期比47.5%増)、営業利益1,407百万円(同20.0%増)となりました。

(訂正後)

国内は、医療関連会社マーケティング支援分野、調査分野、その他分野とも好調に推移したほか、メビックスの新規連結の影響により、売上高2,943百万円(前年同期比47.5%増)、営業利益1,404百万円(同19.8%増)となりました。

(2) 資産、負債及び純資産の状況

(訂正前)

資産合計は、前連結会計年度末比1,701百万円増の14,244百万円となりました。メビックス株式会社（以下「メビックス」という）に対する公開買付けの実施等により現金及び預金が1,538百万円減少し、メビックスの新規連結の影響等により売掛金が677百万円増加したものの、流動資産は前連結会計年度末比465百万円減の9,623百万円となりました。またメビックスの子会社化に伴いのれんを1,921百万円計上したこと、エムスリーキャリア株式会社ののれんを100百万円計上したことを主な要因に、固定資産は前連結会計年度末比2,167百万円増の4,620百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比638百万円増の2,966百万円となりました。メビックスの新規連結の影響等で買掛金が498百万円増加したこと等により、流動負債は前連結会計年度末比658百万円増の2,669百万円となりました。固定負債は、米国SmartestDoc事業の買収に伴う将来債務の公正価値を計上した一方で、投資有価証券の時価評価の影響等により繰延税金負債が158百万円減少したことを主な要因に、前連結会計年度末比19百万円減の296百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比1,062百万円増の11,277百万円となりました。剰余金配当863百万円を行った一方、四半期純利益1,959百万円を計上したことにより利益剰余金が1,096百万円増加したことが主な要因です。

(訂正後)

資産合計は、前連結会計年度末比687百万円増の13,229百万円となりました。メビックス株式会社（以下「メビックス」という）に対する公開買付けの実施等により現金及び預金が1,538百万円減少し、メビックスの新規連結の影響等により売掛金が677百万円増加したものの、流動資産は前連結会計年度末比465百万円減の9,623百万円となりました。またメビックスの子会社化に伴いのれんを911百万円計上したこと、エムスリーキャリア株式会社ののれんを100百万円計上したことを主な要因に、固定資産は前連結会計年度末比1,152百万円増の3,606百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比638百万円増の2,966百万円となりました。メビックスの新規連結の影響等で買掛金が498百万円増加したこと等により、流動負債は前連結会計年度末比658百万円増の2,669百万円となりました。固定負債は、米国SmartestDoc事業の買収に伴う将来債務の公正価値を計上した一方で、投資有価証券の時価評価の影響等により繰延税金負債が158百万円減少したことを主な要因に、前連結会計年度末比19百万円減の296百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比48百万円増の10,263百万円となりました。剰余金配当863百万円を行った一方、四半期純利益945百万円を計上したことにより利益剰余金が81百万円増加したことが主な要因です。

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、第2四半期連結会計期間末残高より78百万円減少し、6,385百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、404百万円の収入（前年同期比178百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,436百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額876百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、511百万円の支出（前年同期比428百万円の支出増）となりました。メビックスの完全子会社化における、子会社株式の取得による支出416百万円が発生しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、29百万円の支出（前年同期比29百万円の支出増）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払30百万円です。

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、第2四半期連結会計期間末残高より78百万円減少し、6,385百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、404百万円の収入（前年同期比178百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,433百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額876百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、511百万円の支出（前年同期比428百万円の支出増）となりました。メビックスの完全子会社化における、子会社株式の取得による支出416百万円が発生しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、29百万円の支出（前年同期比29百万円の支出増）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払30百万円です。

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書（提出日：平成22年7月30日）を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,652,429	8,191,260
売掛金	2,126,820	1,449,350
商品	4,264	2,025
仕掛品	137,308	41,505
その他	708,408	405,586
貸倒引当金	△5,777	△781
流動資産合計	9,623,454	10,088,948
固定資産		
有形固定資産	※1 165,053	※1 65,988
無形固定資産		
のれん	2,850,756	783,665
その他	300,214	195,557
無形固定資産合計	3,150,970	979,223
投資その他の資産		
投資有価証券	867,877	1,173,613
その他	436,967	234,808
投資その他の資産合計	1,304,845	1,408,422
固定資産合計	4,620,869	2,453,634
資産合計	14,244,323	12,542,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	609,494	110,967
未払法人税等	678,239	934,442
ポイント引当金	427,587	314,961
その他の引当金	41,489	47,648
その他	912,981	603,085
流動負債合計	2,669,791	2,011,105
固定負債		
退職給付引当金	7,860	4,426
繰延税金負債	153,116	311,137
その他	135,776	1,085
固定負債合計	296,754	316,650
負債合計	2,966,546	2,327,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,170	1,187,576
資本剰余金	1,418,565	1,415,971
利益剰余金	8,113,462	7,016,995
株主資本合計	10,722,197	9,620,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	263,367	497,481
為替換算調整勘定	△75,960	△87,859
評価・換算差額等合計	187,407	409,622
新株予約権	31,240	12,901
少数株主持分	336,932	171,759
純資産合計	11,277,777	10,214,827
負債純資産合計	14,244,323	12,542,583

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,652,429	8,191,260
売掛金	2,126,820	1,449,350
商品	4,264	2,025
仕掛品	137,308	41,505
その他	708,408	405,586
貸倒引当金	△5,777	△781
流動資産合計	9,623,454	10,088,948
固定資産		
有形固定資産	※1 165,053	※1 65,988
無形固定資産		
のれん	1,836,103	783,665
その他	300,214	195,557
無形固定資産合計	2,136,317	979,223
投資その他の資産		
投資有価証券	867,877	1,173,613
その他	436,967	234,808
投資その他の資産合計	1,304,845	1,408,422
固定資産合計	3,606,217	2,453,634
資産合計	13,229,671	12,542,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	609,494	110,967
未払法人税等	678,239	934,442
ポイント引当金	427,587	314,961
その他の引当金	41,489	47,648
その他	912,981	603,085
流動負債合計	2,669,791	2,011,105
固定負債		
退職給付引当金	7,860	4,426
繰延税金負債	153,116	311,137
その他	135,776	1,085
固定負債合計	296,754	316,650
負債合計	2,966,546	2,327,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,170	1,187,576
資本剰余金	1,418,565	1,415,971
利益剰余金	7,098,810	7,016,995
株主資本合計	9,707,545	9,620,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	263,367	497,481
為替換算調整勘定	△75,960	△87,859
評価・換算差額等合計	187,407	409,622
新株予約権	31,240	12,901
少数株主持分	336,932	171,759
純資産合計	10,263,125	10,214,827
負債純資産合計	13,229,671	12,542,583

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	6,299,681	8,300,308
売上原価	1,426,715	2,364,812
売上総利益	4,872,966	5,935,495
販売費及び一般管理費	※1 1,960,258	※1 2,574,450
営業利益	2,912,707	3,361,044
営業外収益		
受取利息	39,328	—
投資有価証券売却益	75,576	57,169
その他	10,642	28,671
営業外収益合計	125,548	85,841
営業外費用		
為替差損	30,686	22,386
その他	6,241	6,058
営業外費用合計	36,927	28,444
経常利益	3,001,327	3,418,441
特別利益		
持分変動利益	24,304	99,972
特別利益合計	24,304	99,972
特別損失		
持分変動損失	—	6,130
投資有価証券評価損	123,373	—
減損損失	12,309	—
固定資産除却損	—	18,288
事務所移転費用	—	3,274
特別損失合計	135,682	27,693
税金等調整前四半期純利益	2,889,949	3,490,720
法人税、住民税及び事業税	1,239,745	1,545,102
法人税等調整額	△37,749	△16,296
法人税等合計	1,201,995	1,528,806
少数株主利益	20,284	1,950
四半期純利益	1,667,669	1,959,964

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,299,681	8,300,308
売上原価	1,426,715	2,364,812
売上総利益	4,872,966	5,935,495
販売費及び一般管理費	※1 1,960,258	※1 2,579,194
営業利益	2,912,707	3,356,301
営業外収益		
受取利息	39,328	—
投資有価証券売却益	75,576	57,169
その他	10,642	28,671
営業外収益合計	125,548	85,841
営業外費用		
為替差損	30,686	22,386
その他	6,241	6,058
営業外費用合計	36,927	28,444
経常利益	3,001,327	3,413,697
特別利益		
持分変動利益	24,304	99,972
特別利益合計	24,304	99,972
特別損失		
持分変動損失	—	6,130
投資有価証券評価損	123,373	—
減損損失	12,309	—
のれん一時償却額	—	※2 1,009,908
固定資産除却損	—	18,288
事務所移転費用	—	3,274
特別損失合計	135,682	1,037,601
税金等調整前四半期純利益	2,889,949	2,476,068
法人税、住民税及び事業税	1,239,745	1,545,102
法人税等調整額	△37,749	△16,296
法人税等合計	1,201,995	1,528,806
少数株主利益	20,284	1,950
四半期純利益	1,667,669	945,311

【第3四半期連結会計期間】
(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	2,204,840	3,269,489
売上原価	480,570	985,568
売上総利益	1,724,269	2,283,920
販売費及び一般管理費	※1 670,322	※1 982,085
営業利益	1,053,947	1,301,835
営業外収益		
受取利息	14,217	—
投資有価証券売却益	—	50,943
その他	2,292	26,535
営業外収益合計	16,510	77,478
営業外費用		
為替差損	39,510	—
その他	31	1,316
営業外費用合計	39,541	1,316
経常利益	1,030,915	1,377,997
特別利益		
持分変動利益	24,304	79,978
特別利益合計	24,304	79,978
特別損失		
投資有価証券評価損	123,373	—
固定資産除却損	—	18,288
事務所移転費用	—	3,274
特別損失合計	123,373	21,562
税金等調整前四半期純利益	931,846	1,436,413
法人税、住民税及び事業税	398,003	588,902
法人税等調整額	△81,374	2,624
法人税等合計	316,629	591,527
少数株主利益	10,582	10,165
四半期純利益	604,634	834,720

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,204,840	3,269,489
売上原価	480,570	985,568
売上総利益	1,724,269	2,283,920
販売費及び一般管理費	※1 670,322	※1 984,532
営業利益	1,053,947	1,299,387
営業外収益		
受取利息	14,217	—
投資有価証券売却益	—	50,943
その他	2,292	26,535
営業外収益合計	16,510	77,478
営業外費用		
為替差損	39,510	—
その他	31	1,316
営業外費用合計	39,541	1,316
経常利益	1,030,915	1,375,549
特別利益		
持分変動利益	24,304	79,978
特別利益合計	24,304	79,978
特別損失		
投資有価証券評価損	123,373	—
固定資産除却損	—	18,288
事務所移転費用	—	3,274
特別損失合計	123,373	21,562
税金等調整前四半期純利益	931,846	1,433,965
法人税、住民税及び事業税	398,003	588,902
法人税等調整額	△81,374	2,624
法人税等合計	316,629	591,527
少数株主利益	10,582	10,165
四半期純利益	604,634	832,272

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,889,949	3,490,720
減価償却費	55,520	93,082
減損損失	12,309	—
のれん償却額	49,951	95,464
投資有価証券評価損益 (△は益)	123,373	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△75,576	△57,169
固定資産除却損	—	18,510
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,878	1,723
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△551	5,048
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	59,872	112,925
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,497	2,832
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△23,560	△5,327
受取利息及び受取配当金	△44,967	△17,726
為替差損益 (△は益)	30,686	22,386
持分法による投資損益 (△は益)	4,169	△4,545
持分変動損益 (△は益)	△24,304	△93,842
売上債権の増減額 (△は増加)	△87,894	△175,575
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,182	△17,661
前受金の増減額 (△は減少)	△233,396	△187,089
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,416	117,731
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,648	93,692
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△21,710	△101,360
その他	△1,563	22,161
小計	2,675,802	3,415,980
利息及び配当金の受取額	44,967	17,825
法人税等の支払額	△1,851,537	△1,809,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	869,232	1,624,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,810	△60,169
定期預金の払戻による収入	—	4,662
有形固定資産の取得による支出	△13,592	△40,309
無形固定資産の取得による支出	△67,430	△83,790
敷金及び保証金の差入による支出	△6,765	△79,626
敷金及び保証金の回収による収入	289	86,556
投資有価証券の取得による支出	△68,191	△125,000
投資有価証券の売却による収入	110,476	27,495
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△88,466	△1,653,964
子会社株式の取得による支出	—	△416,290
貸付けによる支出	△37,187	△112,579
その他	—	1,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201,679	△2,451,785

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,889,949	2,476,068
減価償却費	55,520	93,082
減損損失	12,309	—
のれん償却額	49,951	100,207
のれん一時償却額	—	1,009,908
投資有価証券評価損益 (△は益)	123,373	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△75,576	△57,169
固定資産除却損	—	18,510
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,878	1,723
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△551	5,048
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	59,872	112,925
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,497	2,832
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△23,560	△5,327
受取利息及び受取配当金	△44,967	△17,726
為替差損益 (△は益)	30,686	22,386
持分法による投資損益 (△は益)	4,169	△4,545
持分変動損益 (△は益)	△24,304	△93,842
売上債権の増減額 (△は増加)	△87,894	△175,575
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,182	△17,661
前受金の増減額 (△は減少)	△233,396	△187,089
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,416	117,731
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,648	93,692
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△21,710	△101,360
その他	△1,563	22,161
小計	2,675,802	3,415,980
利息及び配当金の受取額	44,967	17,825
法人税等の支払額	△1,851,537	△1,809,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	869,232	1,624,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,810	△60,169
定期預金の払戻による収入	—	4,662
有形固定資産の取得による支出	△13,592	△40,309
無形固定資産の取得による支出	△67,430	△83,790
敷金及び保証金の差入による支出	△6,765	△79,626
敷金及び保証金の回収による収入	289	86,556
投資有価証券の取得による支出	△68,191	△125,000
投資有価証券の売却による収入	110,476	27,495
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△88,466	△1,653,964
子会社株式の取得による支出	—	△416,290
貸付けによる支出	△37,187	△112,579
その他	—	1,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201,679	△2,451,785

【注記事項】

【四半期連結損益計算書】

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
報酬・給与 604,635千円	報酬・給与 808,225千円
販売促進費 452,807千円	販売促進費 512,881千円
ポイント引当金繰入額 59,872千円	ポイント引当金繰入額 112,934千円
賞与引当金繰入額 11,739千円	賞与引当金繰入額 20,626千円

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
報酬・給与 604,635千円	報酬・給与 808,225千円
販売促進費 452,807千円	販売促進費 512,881千円
ポイント引当金繰入額 59,872千円	ポイント引当金繰入額 112,934千円
賞与引当金繰入額 11,739千円	賞与引当金繰入額 20,626千円
＝	※2 <u>のれん一時償却額については、連結子会社メビックス株式会社が平成22年4月30日に実施した過年度決算の訂正を発端として買収価格に与えたであろう影響を精査した結果、買収時に使用したメビックス株式会社の財務情報が不適切であったために買収価格算定的前提が覆り、取得対価のうち過大であった部分を損失処理したものです。</u>

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

(訂正前)

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,794,050	475,439	3,269,489	—	3,269,489
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	2,469	—	2,469	(2,469)	—
計	2,796,519	475,439	3,271,959	(2,469)	3,269,489
営業利益(△損失)	1,485,154	<u>△82,227</u>	<u>1,402,927</u>	(101,092)	<u>1,301,835</u>

(訂正後)

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,794,050	475,439	3,269,489	—	3,269,489
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	2,469	—	2,469	(2,469)	—
計	2,796,519	475,439	3,271,959	(2,469)	3,269,489
営業利益(△損失)	1,485,154	<u>△84,674</u>	<u>1,400,480</u>	(101,092)	<u>1,299,387</u>

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

(訂正前)

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,384,997	915,311	8,300,308	—	8,300,308
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	2,469	—	2,469	(2,469)	—
計	7,387,466	915,311	8,302,778	(2,469)	8,300,308
営業利益(△損失)	3,925,036	<u>△260,375</u>	<u>3,664,661</u>	(303,616)	<u>3,361,044</u>

(訂正後)

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,384,997	915,311	8,300,308	—	8,300,308
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	2,469	—	2,469	(2,469)	—
計	7,387,466	915,311	8,302,778	(2,469)	8,300,308
営業利益(△損失)	3,925,036	<u>△265,118</u>	<u>3,659,918</u>	(303,616)	<u>3,356,301</u>

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

（訂正前）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,918,143	326,023	25,322	3,269,489	—	3,269,489
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	24,952	—	—	24,952	(24,952)	—
計	2,943,096	326,023	25,322	3,294,442	(24,952)	3,269,489
営業利益（△損失）	<u>1,407,342</u>	△7,639	4,934	<u>1,404,638</u>	(102,802)	<u>1,301,835</u>

（訂正後）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,918,143	326,023	25,322	3,269,489	—	3,269,489
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	24,952	—	—	24,952	(24,952)	—
計	2,943,096	326,023	25,322	3,294,442	(24,952)	3,269,489
営業利益（△損失）	<u>1,404,894</u>	△7,639	4,934	<u>1,402,190</u>	(102,802)	<u>1,299,387</u>

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

（訂正前）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,502,270	737,703	60,334	8,300,308	—	8,300,308
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	68,463	—	1,782	70,245	(70,245)	—
計	7,570,733	737,703	62,116	8,370,553	(70,245)	8,300,308
営業利益（△損失）	<u>3,721,116</u>	△52,153	△944	<u>3,668,018</u>	(306,973)	<u>3,361,044</u>

（訂正後）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,502,270	737,703	60,334	8,300,308	—	8,300,308
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	68,463	—	1,782	70,245	(70,245)	—
計	7,570,733	737,703	62,116	8,370,553	(70,245)	8,300,308
営業利益（△損失）	<u>3,716,373</u>	△52,153	△944	<u>3,663,275</u>	(306,973)	<u>3,356,301</u>

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額
(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>41,688.08</u> 円	1株当たり純資産額 38,331.94円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	<u>11,277,777</u>	10,214,827
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	368,172	184,661
(うち新株予約権)	(31,240)	(12,901)
(うち少数株主持分)	(336,932)	(171,759)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額(千円)	<u>10,909,604</u>	10,030,165
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数(株)	261,696	261,666

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>37,810.87</u> 円	1株当たり純資産額 38,331.94円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	<u>10,263,125</u>	10,214,827
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	368,172	184,661
(うち新株予約権)	(31,240)	(12,901)
(うち少数株主持分)	(336,932)	(171,759)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額(千円)	<u>9,894,952</u>	10,030,165
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数(株)	261,696	261,666

2 1株当たり四半期純利益金額等
(訂正前)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	6,386.89円	1株当たり四半期純利益金額	7,489.84円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	6,302.58円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	7,406.29円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	1,667,669	1,959,964
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,667,669	1,959,964
期中平均株式数(株)	261,108	261,683
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,493	2,952
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	2,314.21円	1株当たり四半期純利益金額	3,189.68円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,284.91円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3,153.33円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	604,634	834,720
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	604,634	834,720
期中平均株式数(株)	261,270	261,694
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,350	3,017
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 6,386.89円	1株当たり四半期純利益金額 3,612.43円
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額 6,302.58円	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額 3,572.13円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	1,667,669	945,311
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,667,669	945,311
期中平均株式数(株)	261,108	261,683
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,493	2,952
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 2,314.21円	1株当たり四半期純利益金額 3,180.33円
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額 2,284.91円	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額 3,144.08円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	604,634	832,272
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	604,634	832,272
期中平均株式数(株)	261,270	261,694
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,350	3,017
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年7月30日

エムスリー株式会社
(旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社)
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 善場 秀明
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエムスリー株式会社（旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社）の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エムスリー株式会社（旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社）及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

「第5 経理の状況 2. 監査証明について」に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年7月30日
【会社名】	エムスリー株式会社 (旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社)
【英訳名】	M3, Inc. (旧英訳名 So-net M3, Inc.) (注) 平成21年6月22日開催の第9回定時株主総会の決議により、平成22年1月1日付で会社名を上記の通り変更しました。
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷 村 格
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都港区芝大門二丁目5番5号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 谷村格は、当社の第10期第3四半期（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）の四半期報告書の訂正報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2【特記事項】

特記すべき事項はありません。